

令和元年度 神戸市水の科学博物館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

| | | |
|--------------------|---|----------------|
| (1)施設概要(設置目的、施設内容) | 水及び水道に関する資料を収集し、及び展示して市民の利用に供することにより、水道事業に関する知識の普及及び啓発を図るため、設置。水の科学博物館及び事務所がある。 | |
| (2)指定管理者 | 神戸市水道サービス公社・神鋼環境ソリューション・NPO法人グループわ | |
| (3)指定期間 | 平成28年4月1日～令和2年3月31日 | |
| (4)R1市支出額(単位:円) | 協定締結額45,645,768円 | 決算額44,763,192円 |

2. 管理運営内容

| (1)管理実施状況 | | 元年度の状況 |
|-----------|---------------|--|
| | ①施設の維持管理業務 | (1) 業務体制は、管理運営スタッフ4名、庶務1名、館内受付2名、警備スタッフ2名、水の実験スタッフ1名、の総数10名で管理運営業務を行った。 (2) 機械警備、清掃、建物・設備管理、電気設備、植栽管理及び展示物の保守管理を適正に実施した。 ★障がい者の就労機会の拡大に配慮し、kkいくせい株式会社に清掃・及び植栽管理業務を委託。 |
| | ②施設の運営業務 | (1) イベントの企画運営 集客が見込まれる土日祝を中心にイベントを開催。夏休みには、小学生向けの工作教室や理科講座等を開催し、人気がある講座は追加開催や定員増を行うなど、自由研究に役立つイベントを充実させた。その他、成人向けなど年代層に応じたイベントや、地元商店街と連携したイベントも開催。近隣学校園と連携したイベントや講座も引き続き実施した。 なお、イベント講師には「KOBEまなびすとネット」の市民講師制度を引き続き利用することで、1件あたりのイベント費用を抑制し、開催件数を可能な限り増やした。 ※1 イベント回数合計391回(前年度322回)、入館者数合計29,692人。 ※2 追加開催したイベント回数29回(内夏休み期間10回) (2) 関係機関への働きかけ ①学校園との連携 ・神戸市の全小学校、全児童館にイベントチラシを配布。(約10万部/回) ・近隣の幼稚園等にもチラシ配布等を行い、来館を働きかけた。 ②地域団体との連携 ・地元のふれあいのまちづくり協議会と連携し、自治会掲示板や会館などにチラシを掲示したほか、地域の集会にも参加し、イベント案内を実施。 |
| (2)利用状況 | | 元年度の状況 |
| | ①施設利用状況 | ・入館者数 令和元年度: 45,746人(3月2日～3月31日は臨時休館) 平成30年度: 44,555人 平成29年度: 51,886人 |
| (3)収支状況 | | 元年度の状況 |
| | ①使用料または利用料金収入 | ・入館料収入 令和元年度: 145,550円 平成30年度: 189,790円 平成29年度: 213,070円 |
| | ②指定管理者の収支状況 | 収入: 47,316,425円 支出: 58,114,355円 |
| (4)その他 | | 元年度の状況 |
| | ①行動指針に対する対応 | 【目指す姿】 利用しやすく、市民に親しまれる魅力的な水道事業の広報拠点。 【対応】 多くの方々が施設に訪れ、神戸の水道事業に関心を持つきっかけづくりを行うため、工夫をこらした多種多様なイベントを数多く開催し、集客に努めた。また、地域資源として市民の方々にご利用いただけるよう、4月にさくらフェアを開催したほか、建築物をテーマとした講座の開催等を通じて、国の登録有形文化財でもある博物館建屋に親しみを持っていただけるよう取り組んだ。 |

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

| | | 提案内容(目標値など) | 達成状況 |
|-------------|---------------|-------------|--|
| ①利用者数または利用率 | | 入館者数目標:8万人 | 入館者数:45,746人 (3月2日~3月31日は臨時休館) |
| ②収入目標額 | | — | — |
| ③その他新たなサービス | イベントの企画運営 | | ・プログラミングに挑戦 ・風力発電を学ぼう ・ソーラー風車を作ろう ・生き物と一緒に環境について学ぼう |
| | 前庭・芝生広場でのイベント | | ・神戸製鋼コベルコスティーラーズの現役選手とラグビーを体験しよう ・成人対象 タイ式ヨガ |
| | 利便施設の設置 | | 自宅や外出先でエコアクションを行うと、ポイントが貯まるKOBEエコアクション応援アプリ「イイことぐるぐる」の環境関連施設として登録。アプリ登録者が水の科学博物館を訪れるとポイントが付与される。 |

4. 利用者の満足度調査等

| | | 元年度の状況 |
|-----------------------|--|---|
| ①満足度調査の実施内容 | | 1. 調査期間:平成31年4月1日~令和2年3月1日 2. 調査方法:博物館、イベント会場にてアンケート用紙を手渡し、回収箱にて回収 3. 回収枚数:3,754件 |
| ②満足度調査の結果 | | ◇ウォーターサイエンスゾーン 満足47.4%、ふつう8.7%、不満0.5%、無回答43.4% ◇理科の実験コーナー 満足44.9%、ふつう8.9%、不満0.5%、無回答45.7% ◇水道資料館ゾーン 満足41.1%、ふつう12.6%、不満0.5%、無回答45.8% ◇ウォーターカルチャーゾーン 満足39.9%、ふつう11.5%、不満0.5%、無回答48.2% ◇3Dシアター 満足37.9%、ふつう10.6%、不満1%、無回答50.5% ◇イベントについて 満足64.5%、ふつう5%、不満0.6%、無回答29.9% ◇スタッフ対応 満足65.3%、ふつう6.8%、不満0.8%、無回答27.1% ◇全体満足度 満足64.8%、ふつう6.5%、不満0.4%、無回答28.4% ◇水道の知識を得ることができたか 様々知れた31.5%、少しは知れた31.6%、あまり知れなかった2.5%、わからない4.6%、無回答29.9% ◇再来館の有無 ぜひ来たい47.4%、また来たい33.3%、わからない5.4%、もう来ない0.2%、無回答13.7% |
| ③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応 | | 特になし |

5. 選定評価委員会の評価

| 管理運営に対する総合評価 | OAAA | OAA | ●A | OB | OC |
|--------------|--|-----|----|----|----|
| 所見 | <p>・4年間の指定管理期間の最終年度であり、最後まで事業収支の赤字は解消できなかったものの、過去3年間と比較すると一定の収支改善が認められる。</p> <p>・これまでの管理運営で培ったノウハウを活かしながら、引き続き新たなイベントを企画実施し、開催回数についても年々着実に増やしていくなど精力的に取り組まれており、当初の提案内容については十分に取り組まれている。</p> <p>・例年さくらフェアの開催などで多くの来館者が訪れる3月度について、新型コロナウイルス感染拡大防止の全市的な方針にもとづき、おおよそ休館したにもかかわらず、年間入館者数は45,000人を超え、平成30年度の実績を上回るなど集客努力が認められる。</p> <p>・満足度調査の結果において、イベントやスタッフ対応の満足度が高く、評価に値する。</p> | | | | |